

こ う し ゆ う

甲州市社会福祉協議会

社協だより

第20号



もくじ

- こうしゅう福祉まつり特集 P2
- 一般・賛助会費お礼、共同募金お礼 P3
- 災害ボランティアセンター訓練特集 P4
- 障害者地域活動支援センターより、
大月民児協研修、中学生疑似体験 P5
- いきいきサロン・手話、HP開設 P6

「健康」をテーマにこうしゅう福祉まつり開催！

平成24年11月17日、甲州市民文化会館において第4回こうしゅう福祉まつりを開催しました。

屋内会場では毎年恒例の福祉体験コーナーとして輪投げ、手話クイズ、点字体験、アイマスク体験、王様クイズを実施しました。

屋外会場では福祉作業所の出店ブースのほか、あおぞらステージ、こどもクジ、健康コーナー、消防車や救急車との写真撮影を実施し、当日はあいにくの天気にも関わらず、500名以上の方々にご来場いただきました。

詳しくは2ページに掲載します。

s h a k y o u

第20号 発行日 平成25年2月1日

発行所 社会福祉法人 甲州市社会福祉協議会 甲州市勝沼町休息1867-2 TEL.0553-44-2612

甲州市勝沼健康福祉センター TEL.0553-44-1329 甲州市老人福祉センター TEL.0553-33-9375
福祉あんしん相談センター TEL.0553-32-0285

第4回 こうしゅう 福祉まつり 特集！

福祉体験コーナー

屋内会場では輪投げ、手話クイズ、点字体験、アイマスク体験、王様クイズの5つの福祉体験コーナーを設け、それぞれの特色を活かした福祉体験を来場者に楽しみながら学習していただきました。

手話クイズは子供たちに大人気でした。点字体験は名前シールづくりに熱心に取り組み、やっとできた名前シールを何度も触りながら確かめしていました。

アイマスク体験や王様クイズも多くの参加者で、にぎわいみんなで大きな福祉の輪を作ることができました。



ふれあい商店街・あおぞらステージ



小雨の降る中、開催された屋外会場のふれあい商店街では市内福祉施設や協力団体の出店テントが並び、綿菓子・ヨーヨー・こどもクジコーナーは子供たちに人気を博し、雨にも負けないにぎわいをみせていました。

また、あおぞらステージでは、車いすダンスやマジック・リズム体操・園児たちによる和太鼓演奏など楽しいステージのほか、今回新たに設けた消防車・レスキュー車などとの記念撮影や健康づくりコーナーはとても好評でした。



バナナのたたき売りでは威勢の良い掛け声にバナナが売れ、収益金は東日本大震災の義援金として寄付されました。足元が悪い中、ご参加・ご協力いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。



社会福祉大会

第6回を迎えた甲州市社会福祉大会では、社会福祉活動で功績があった個人4名、4団体に功労表彰を、多額寄付者4名と役員として尽力された方12名に感謝状を贈呈しました。

このほか、事例発表として「地域で作った防災マップ」(菱山4区)、「子ども見守り隊」(東雲地区民児協)、「お茶飲み会」(下栗生野地区)の取組みを発表していただき、また、会場内で皆様から募集した『福祉・介護』川柳を展示し、優秀作品を発表しました。

災害ボランティアセンター設置運営訓練

特集

一昨年3月11日に発生した東日本大震災以来、自主防災意識が一段と増してきた昨今。社会福祉協議会はこのような大災害が発生した際に災害ボランティアセンターを設置し、助けを必要とする（ニーズ）被災者の方々と被災者を助けたい（ニーズ）と全国各地から集まったボランティアの方々とをつなげる（マッチング）役割を担います。

いつ起きるともわからない大災害に備えて、日頃から災害ボランティアセンター設置運営訓練を行っています。

山梨県地震防災訓練（南部町）

年1回、山梨県内の1市町村を対象に地震防災訓練を開催します。今回は10月14日に南部町で開催され、東海地震を想定とした訓練が行なわれました。

訓練には山梨県の消防や警察、自衛隊、電力会社、病院、建設業者、ボランティアなどのほか、来年度開催予定の甲州市からも市役所職員や社協職員が参加しました。



甲州市地域防災力向上研修（甲州市）

11月25日に行われた甲州市地域防災力向上研修（勝沼会場）に社会福祉協議会が参加し、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。ボランティアさんには主に以下のような工程で受付から作業、報告に至ることになります。



1 受付

ボランティアさんに事前説明をし、申込用紙と名札に記入してもらいます。



災害ボランティア
センターの流れ



2 マッチング

被災者とボランティア相互の要望（ニーズ）を合わせ（マッチング）、グループリーダーを決めます。



3 送出し

被災者のニーズ内容や地図、注意事項の説明をして、活動に必要な資機材を渡します。

4 現地活動

ガレキの運び出しや清掃、泥だしなどの活動を行い、終了後に報告書を作成していただきます。



障害者地域活動支援センター からのお知らせです



障害者地域活動支援センターでは、毎月第1火曜日に「陶芸教室」を開催しています。

この教室は、障害者・高齢者及びその家族、住民との交流を促進するための地域活動の拠点として実施しており、参加者の皆様には、お皿、カップ、花瓶など思い思いの作品を成形していただき、釉がけでは好みの模様や色を付けていただくなど、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動していただいている。平成23年度には社会福祉法人藤実会様より寄付を受けて新しい電気陶芸窯を設置することができました。

大和で思案洞（陶芸釜）の柏原先生を講師としてお招きし、塩寿荘陶芸教室のみなさまにもボランティアとしてご協力をいただいておりますので、初心者の方でも安心してご参加いただけます。

興味をお持ちの方は、まずは電話かFAXでお問い合わせください。



【問い合わせ先】甲州市福祉あんしん相談センター TEL 32-0285 FAX 33-2307（間下・芳賀）

大月市民児協研修 (ファーストスプーン事業)

平成24年9月4日、大月市の民生児童委員の皆さんのが、23年度からスタートした「ファーストスプーン赤ちゃん訪問」事業内容の研修にみえられました。

手作リスプーンを実際に手に取り、地域全体で子育て支援を進める事業内容に「素晴らしい事業ですね」「大月市でも実施してゆきたい」と今後も情報交換を約束し、お互いの交流も深めることができました。



中学生がお年寄りの体や気持ちを体験

平成24年10月12日、勝沼中学校に職員2名が出向き、総合学習として1年生97名を対象とした高齢者疑似体験講習を行いました。

体験は生徒さんをいくつかのグループに分けて、それぞれのグループで疑似体験装具を手伝い合いながら付けてもらい、体験者、介助者、観察者、店員役に分かれて階段の上り下りと、模擬店でのお金の出し入れを行いました。

生徒さんからは「階段の上り下りにとても苦労した」「お金や景色がとても見づらかった」「これからはお年寄りの気持ちに寄り添った行動を心がけたい」などの感想をいただきました。



私たちも
取り組んで
います！

ふれあい・いきいきサロン紹介コーナー

no. 12

下塩後ふれあい いきいきサロン

(下塩後地区)

平成24年10月に発足した甲州市で最も新しいサロンです。

最初は何が始まるのか緊張した様子の参加者達も「きよしのズンドコ節」に合わせた健康体操が始まると、リズムに乗って徐々に体も心もほぐれていき、その後はお茶を飲みながら世間話や今後のサロンの話などに花が咲いていました。

下塩後公会堂を利用して農閑期の11月から3月までの予定で、11月に賑やかなスタートを切ることが出来ました。

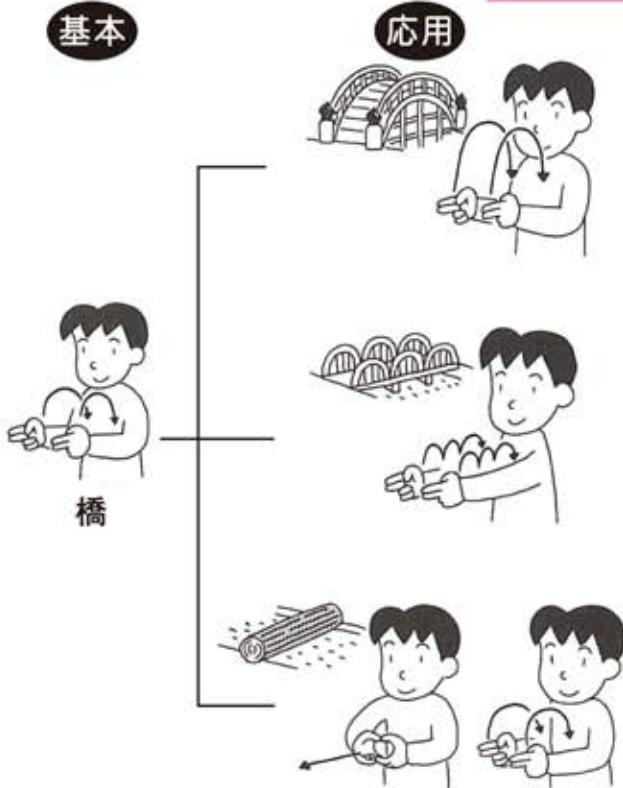


形を工夫して表現しよう

「橋」

かんたん
手話

基本



甲州市社会福祉協議会の
ホームページができました！



この度、甲州市社会福祉協議会の広報ツールの一つとしてホームページを立ち上げることとなりました。

開設したてで、まだまだご不便をかけることとは思いますが、より見やすく親しみやすいホームページとなるよう随時更新していきたいと思いますので、末永くよろしくお願ひいたします。

URL:<http://www.koshushishakyo.or.jp/>

地域の福祉
みんなで参加
赤い羽根
共同募金

この社協だよりの費用は、県共同募金会の配分金の一部を充てています。